

安全な医療を受けていただくために



飯田市立病院では、患者の皆さんに安全・安心な入院生活を送っていただき、医療事故を防ぐために職員一同最大限の注意を払う努力をいたします。そのためには患者さん自身やご家族にもご協力をお願いすることがあります。以下のご案内をお読みいただき、ご協力をお願いします。

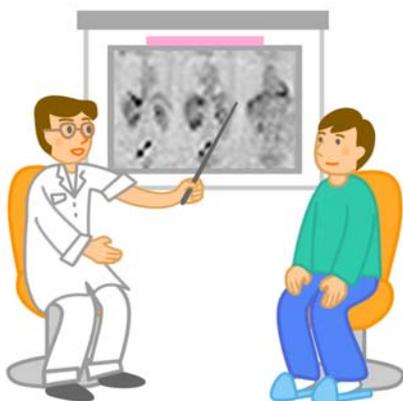


飯田市立病院 医療安全部

〒395-8502 飯田市八幡町 438 番地
TEL : 0265-21-1255 FAX : 0265-21-1266
URL : <http://www.imh.jp/> Mail : anzen@imh.jp

1. 医師、看護師からの説明について

- 病気、検査、治療などで分からないことがあれば、医師または看護師にお尋ねください。
- すぐに説明できることはその都度説明いたします。医師からまとまった説明を希望する時には看護師にお申し出ください。説明日時の予約をお取りします。
- 自身の病気や治療について他の病院を受診して意見を聞きたい場合（セカンドオピニオン）は、医師、看護師にご相談ください。このことで不利益を受けることはありません。



2. 氏名、検査内容の確認について

- さまざまな書類や伝票を渡された時、注射や検査が行われる時などは、ご自分の名前が書かれているか、実施されるのはどんな検査であるのかを、ご自身でも確認するようお願いいたします。

3. 患者さん間違いを防ぐためのご案内

- 患者さん本人であることを確認するためにお名前をお聞きしますので、必ずフルネームでお答えください。
- 入院されましたら患者さん間違いを防ぐため、全員にリストバンドの装着をお願いしています。

- ▶ 手術、検査、注射、処置を行う時には、このバンドのバーコードを読み取り、本人確認をします。
- ▶ バンドの装着により皮膚に異常を感じた場合は、医師または看護師にお知らせください。
- ▶ このバンドは退院まで外さないでください。



4. お薬の申告と持参のお願い

- 服用中のお薬は入院後も継続して服用していただくことがありますので、入院の際にはご持参ください。
- 病気の状態や手術のために一時お薬の服用を中止することがあります。またお薬によっては病気に影響することがあります。このため当院から処方されている薬、他の医療機関で処方された薬、薬局で購入された薬、サプリメントや健康食品などがあれば入院時にもれなくお知らせください。
- 『お薬手帳』や『おくすり説明書』がありましたら一緒にお持ちください。
- お薬の飲み方について普段から注意を受けていることがありましたらお伝えください。

5. アレルギーの申告のお願い

- 食べ物でアレルギーを起こしたことがある。薬の副作用（発疹やかゆみ、吐き気など）が出たことがある、検査時の造影剤などで顔のほてり、めまい、吐き気、かゆみなどの症状が出たことがある、などの経験がある場合は必ず申告してください。
- アレルギー体質のご家族がいる場合もお知らせください。
- アレルギーの情報をもとに、食事や薬剤の提供に細心の注意を払います。患者さん、ご家族も配膳された食事や処方されたお薬についてご確認ください。

6. 転倒・転落、危険行動防止にご協力ください

- 病気やケガによる体力や運動機能の低下で、思わぬ転倒やベッドからの転落の危険があります。特にご高齢の患者さんは入院という環境の変化や病気自体の影響で自分がどこにいるのか、どうして病院にいるのか分からなくなり、歩けないのに歩こうとする、点滴を抜いてしまう、尿の管を抜いてしまうなど危険な行動を取ることがあります。
- 入院時には履き慣れた靴やいつも使っている杖、メガネなどをお持ちください。
- 行動制限として体動（離床）センサーの装着、ベッド柵を4点つける、薬剤の服用、時に抑制などの危険防止策を行います。
- あらかじめご家族にご了承いただきますのでよろしくお願いいたします。

7. 褥瘡（床ずれ）予防にご協力ください

- 病気やケガで寝たきりや栄養低下の状態になると、かかと、お尻、背中など骨が出っ張っている部分に褥瘡が出来やすくなります。
- 褥瘡予防のために定期的に身体の向きを変えたり、マットレスの種類を変更することがあります。

- 体がマットレスや装着器具に当たるなどで痛みが出たり、皮膚が赤くなったりするような場合はすぐ看護師にご相談ください。
- 褥瘡の状態によっては担当医師、看護師の他に褥瘡ケアチームにより予防や治療にあたります。

8. 院内感染防止にご協力ください

- 病院には重症患者や抵抗力の低下した患者さんも多く入院しています。感染防止のため食事の前、トイレの後、病室への入室時には手の消毒をお願いします。
- 乳幼児同伴での面会や発熱・咳などがある方の面会はお控えください。時に入室制限をすることがあります。
- 咳エチケット（マスクの着用など）をお守りください。
- トイレ使用の際には便座の清潔のため便座クリーナーをお使いください。
- 入院前に水痘、麻しん、風しん、流行性耳下腺炎（おたふく）、インフルエンザ、流行性角結膜炎などの患者さんに接した可能性のある場合は、医師または看護師にお申し出ください。



周囲の人からなるべく離れましょう。

咳やくしゃみのしぶきは約2メートル飛ぶといわれています。



マスクを着用しましょう。

咳、くしゃみが出ている時はマスクを着用しましょう。使用後のマスクはすぐにゴミ箱に捨てましょう。



咳やくしゃみを押さえた手を洗いましょう。

手は石けんで、ていねいに洗いましょう。



咳やくしゃみをするときは他の人から顔をぞらし、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。

使ったティッシュはすぐにゴミ箱へ！

9. 迷惑行為への対応について

- 患者さんの安全を守り、診療が円滑に行われるために、次のような迷惑行為を認めた場合には、診療及び施設利用を制限させていただきますことがあります。
 - ▶ 他の患者さんや職員に対し暴力を振るったり、セクシャルハラスメントを行ったりした場合、もしくはその恐れが強い場合
 - ▶ 大声や暴言により、他の患者さんに迷惑を及ぼしたり、職員の業務を妨げたりした場合
 - ▶ 解決が困難な要求を繰り返し行ったり、病院業務を妨げたりした場合
 - ▶ 治療上必要な指示に従えない場合（無断外出や禁煙が守れない場合など）
 - ▶ 入院に必要な危険な物品を院内に持ち込むことや病院の建物・設備・機器等を故意に破壊した場合
 - ▶ 治療もしくは面会などの用事がなく病院の建物、敷地内に立ち入り、注意しても退去しない場合

- 当院では上記行為防止のため、特定箇所に監視カメラを設置しています。また電話等による会話を録音させていただく場合があります。

10. 医師や看護師に相談しにくい時 （相談窓口のご案内）

- 入院中の検査や治療、医師・看護師らによる医療行為について不安や疑問に思うことがあっても、直接医師や看護師らには相談しづらいことがあるかもしれません。
- そのような時の相談窓口として医療安全部があります。医療安全の専門の職員がお話を伺いますので遠慮なくご相談ください。

医療安全部 飯田市立病院 南棟3階
直通連絡先：080-6933-1593



安心，安全な医療を提供するため

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます